

ここが違います

キリマンジャロの 登頂ツアーを実施して47年!

1. ホロンボハットに2連泊(ゆったり登頂) 高所順応を考慮した登山計画です。
2. 高所経験豊富なツアーリーダーに加え、山中では強力な現地ガイドがご参加者2名様に1名同行します。
3. 酸素ボンベ、加圧バッグ、パルスオキシメーター、衛星電話などに加え、現地ガイドのレスキュー態勢も万全です。
4. 登山者検診ネットワーク専門医による健康調査(別料金)に加え、山中では高所馴化チェックシートを活用します。

キリマンジャロでは個人ポーターを雇えるの？

キリマンジャロ登山に際して、当社では、登山者が持つべき荷物について次のように考えております。キボハットから登頂日に、出発時点から全くの空身で歩行することはやめるようツアーリーダーを指導しています。理由は、未明の出発となり、周囲は真っ暗ですから、もし、ポーターに荷物を預け、そのポーターとはぐれてしまった場合には、飲料水も、行動食も、予備電池も、防寒着も、手元になく、極めて危険な状態に陥る可能性があるからです。またザックを背中に背負うことは、それだけでも防寒効果を高めることになりま

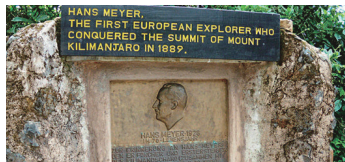
す。仮にポーターに荷物を預けるとした場合、何を預けることになるのか考えてみますと預けられるものは、予備の飲料水とカメラくらいと思われま。この程度の軽量化では体温温存の効果性は高くはないものと考えざるを得ません。もちろん、現地のたくましいガイドたちが同行していますから、危急時にはツアーリーダーやガイドが援助の手をさしのべますのでご安心ください。安易にポーターに荷物を預けて六千メートル近い高峰に登ることは、意外と危険に身をさらすことになる、と私どもでは考えております。

キリマンジャロ (5,895m)

キリマンジャロは、タンザニア北東部に位置するアフリカ大陸の最高峰です。スワヒリ語で“白く輝く山”を意味し、西にシラ峰(3,962m)、中央にキボ峰(5,895m)、東にマウエンジ峰(5,151m)の3つの峰からなります。最高峰はキボ峰で、最高点は“独立”を意味するウフル・ピークと呼ばれています。文豪ヘミングウェイの小説「キリマンジャロの雪」で世界的に知られ、山麓は質の高いコーヒーの名産地です。

1848年、ドイツ人宣教師レプマンがヨーロッパ人として最初に山頂付近の雪を望見して以来、この山の探検が続けられ、1889年ドイツ人地理学者ハンス・メイヤー(マイヤー)らが初登頂に成功します。当時キリマンジャロはイギリス植民地領(現在のケニア)に属していましたが、後にアフリカ最高峰だと知ったドイツ皇帝ウィルヘルムII世が、イギリスに国境線の変更を要求し、ドイツ領タンガニーカに編入されました。その結果、当初直線だった国境線が、キリマンジャロ付近で大きく湾曲した線になったと言

われています。最も一般的な登山ルートは、マラング・ルートと呼ばれ、標高1,800mの登山口から山頂まで高低差約4,100m、歩行距離約100kmを6日間の行程で歩きます。ツアーでは、ご参加者の体力や高山順応を考慮し、徐々に高度を上げながらゆっくりゆっくり(ポレポレ)登るのでご安心ください。また、強力な現地登山ガイドのサポートや緊急時のために酸素ボンベを山頂まで携帯するなど、ご参加者の安全や健康にも配慮しております。そして、登山後にはアフリカ旅行の醍醐味であるサファリ・ドライブも楽しむ贅沢な山旅となっています。当社は1972年に日本で初めてキリマンジャロ登頂ツアーを実施しました。自信をもってご案内いたします。



▲登山口にあるハンス・メイヤーのレリーフ



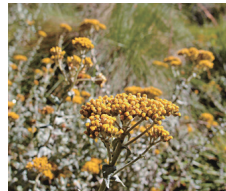
▲キリマンジャロの氷河が輝く頂上稜線



▲登頂証明書の授与とセレモニー



▲キリマンジャロ登山を思い思いに振り返る



▲固有種プロテア・キリマンジャリカ(左)をはじめ登山道わきに自生する植物たち

アフリカ大陸最高峰への道のり

